

第 35 回日本米国南東部会 合同会議  
(本官御挨拶、2012 年 9 月 14 日午後、帝国ホテル )

米倉議長、  
ご紹介賜り、有り難う存じます。在マイアミ  
日本総領事館の川原です。

まず、今回の南東部会合同会議を見事に  
運営された、日本側事務局、住友化学関係  
者の皆様方の御尽力、及び心温まるご配慮  
に対しまして、深甚なる感謝を申し上げます。

昨年、3.11の東日本大震災後、米国を  
始めとする世界からの支援の大きな動きがあり、米国南東部各州でも日本支援の動  
きが大変に盛り上がりました。こうした米国の力強く、暖かい支援を忘れることはありま  
せん。

米国の支援に対する日本側のフォローアップ活動の一つとして、今年 4 月 30 日、  
日米首脳会談の際、日本側から日米 2 千名の高校生交流を内容とするキズナ・プロ  
グラムが発表され、今年、6 月、7 月には、日本語を学ぶ米国高校生が、東北地方で  
の地域交流をはじめ、現在の日本の姿をみてもらう事業が実施されました。今後、東  
北地方の高校生等が米国各州を訪問する予定です。

また、今年に入り、10 年間にわたる日米共同研究開発の成果として完成したボーイ  
ング787が、日本と米国の間で就航するとの大変歓迎すべきニュースもありました。

さて、

フロリダ州は、人口1900 万人あまり、全米第 4 位の人口を有します。IMF が今年  
4 月に公表した世界経済データから、フロリダ州の経済規模(7670億ドル)を国際比較  
しますと、世界のトップ20位内に入ります。国で言えば、韓国、インドネシア、蘭に次い  
で、トルコ一国の経済規模に匹敵しますが、こうした事情を知る方は意外に少ないもの  
と存じます。

マイアミ国際空港(MIA)の航空貨物取扱量は、全米空港の中で、断トツの1位で  
あります。国際便乗客数も、NY の JFK 空港(22.6 百万人)について 2 番目に多く(17  
百万人)、三番目はロス空港(14. 8百万人)であり、過去 3 年間、この順位は変わって



いません。

MIAの国際貨物について一言申しあげると、特徴的なのは、北半球の端境期の時期に、農水産・園芸品を南半球から空輸して、マイアミを中心にグローバルな取引がなされていることです。

また、中南米65都市と直行便で結ばれ、毎週1, 120本以上の便があり、マイアミは、まさに中南米への最大のゲートウェイとなっています。州内に12ある州立大学には、中南米の政治経済研究センターも多く、また、中南米各国要人が頻繁に訪問し、中南米の首都は、マイアミと、しばしば言われるのは故なきことではありません。

フロリダ州は、宇宙・航空、バイオ産業、金融機関の一大中心地でもあり、併せて、観光産業にも素晴らしいものがあります。例えば、クルーズ船の旅です。

マイアミ港から、毎週、多数の豪華クルーズ船がカリブ海へ出向し、そのサービスの良さと非常にリーズナブルな価格設定のため、米国人及び海外の方のクルーズ年間利用者が年々増大し、マイアミからだけで300万人を超えますが、こうした事情は日本では、あまり知られておりません。

フロリダは、別名「サンシャイン・ステート」と呼ばれ、年間を通じて温暖です。フロリダ州に押し寄せる米国内・外からの観光客は、実に、年間8700万人を超えるという観光の先進州でもあります。

フロリダ州知事スコットさんは、フロリダ州を全米1, ビジネス・フレンドリーな州にしたい、又、米国最大の観光州にしたい、との明確な目標を掲げておられます。因みにフロリダ州には、ハイテク関連企業数が2万4千社(2008年)を超えており、南東部7州でも断トツに数が多く、又、州の所得税がなく、法人税がとられない企業が半数を占めるビジネス環境です。フロリダ州で活躍する一定規模以上の日系企業は、160を数えます。

どうぞ、フロリダ州にさらに御注目を頂きたいと思えます。

最近の航空業界の話しをひとつ御紹介申し上げます。マイアミ空港は、アメリカン(AA)航空のハブ空港です。同社の今後進出したい市場ターゲットは、アジア市場であり、2014年以降、マイアミ→成田→香港ルートへの直行便にボーイング・トリプルセブン300ER という足の長い機体の使用を検討中と聞いております。

アメリカン航空を追っかける形になる可能性が高いかと思えますが、日本の航空会社によるフロリダへの直行便の就航が大いに待たれます。当然ながら、直行便の就航は、日本とフロリダ間のビジネス・観光の流れに一大変化をもたらすゲームチェンジャー(game changer)と見ております。



最後に、フロリダ州を始めとする米国南東部7州で活躍している多くの地場優良企業と日本企業との間での新たなビジネス成功例が、今後も着実に増えることを御期待申し上げて、私の結びの言葉とさせていただきます。ご静聴有り難うございました。(了)